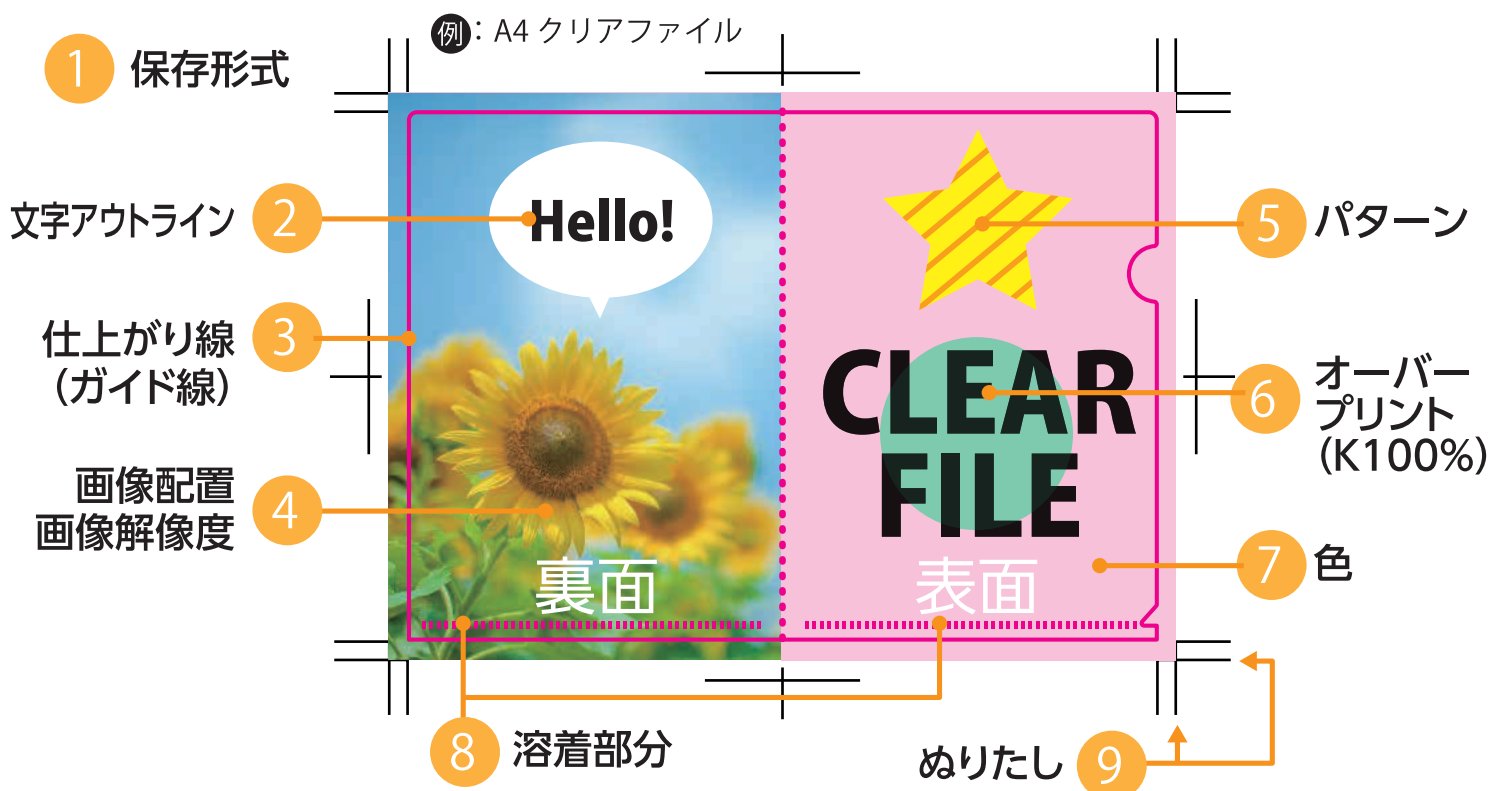


※完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

Adobe Illustrator 用 カラーデータ作成時のチェックポイント



保存形式 1 AI形式もしくはPDF/X-4形式で保存して入稿してください。

文字アウトライン 2 文字には必ずアウトラインをかけてください。

仕上がり線 (ガイド線) 3 ピンクのラインで型抜きします。切れてはいけな文字やデザインはラインより3mm内側にデザインしてください。

画像配置・解像度 4 リンク元画像も一緒にご入稿ください。解像度は300～350dpiを推奨しております。CMYKにしてプロファイルは埋め込まないでください。

パターン 5 パターン機能を使用した場合は、必ず「分割・拡張」の処理を行って下さい。

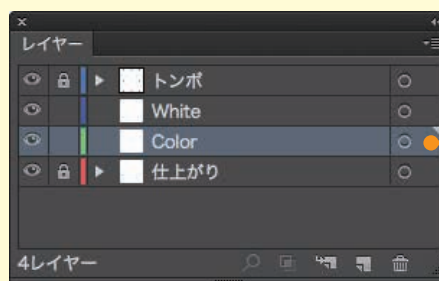
オーバープリント 6 K100%のみオーバープリントが適用され、下の色が透けて見えてきます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%足してください。

色 7 特色設定のないCMYKデータで作成してください。

溶着部分 8 溶着部分への印刷は可能ですが見せたいデザインや読ませたい文字は下の仕上がり線より7mm以上内側に配置して下さい。

ぬりたし 9 仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がり部分より3mm外側までぬりたしをつけてください。

作成レイヤー 10 「Color」レイヤーに作成してください。レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。



10 作成レイヤー

Adobe Illustrator 用 白データ作成時のチェックポイント



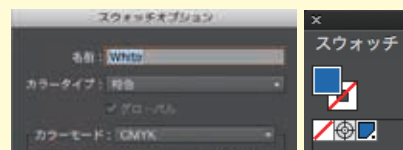
以下の三種類の白版は、弊社でご用意いたします。入稿時にお選びください。



このように部分的白がある場合はデータをご用意ください。

保存方法 1 カラーデータのレイヤーと、**白データのみ**のレイヤーにレイヤー分けて保存してください。データが複数ある場合は1つのフォルダにまとめて圧縮(zip)して入稿ください。

色 2 白くしたい部分には**特色 White** (C100%、M50%)を適用してください。テンプレートのスウォッチパネル内にご用意しておりますのでこちらをご利用ください。

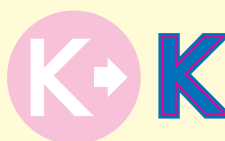


オフセット 3 カラーデータと白データがピッタリ同じサイズだと、印刷時の素材の伸びで絵柄から白がはみ出してしまいます。必ず**パスのオフセット**をして下さい。
方法：①効果→パス→パスのオフセット②オブジェクト→アピアランスを分割



部分的に白を印刷したい

カラーデータよりも**-0.1mm内側**に小さくすると、より綺麗な仕上がりになります。



白を白として見せたい

カラーデータよりも**+0.1mm外側**に大きくすると、より綺麗な仕上がりになります。-0.1mm内側に小さくしてしまうと、背景と白の間に透明な隙間が生まれる可能性がありますのでご注意ください。

作成レイヤー 4 **[White]**レイヤーに作成してください。レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。